



平成 27 年1月8日

各 位

会 社 名 大阪有機化学工業株式会社
代 表 者 取締役社長 鎮目 泰昌
(コード番号:4187 東証第一部)
問合せ先 取締役社長室長 永松 茂治
TEL 06-6264-5071(代表)

中長期経営計画策定に関するお知らせ

当社グループは、2015 年 11 月期を起点とする 10 年間の長期経営計画「Next Stage 10」を策定し、その第1次5ヶ年中期経営計画(2015 年 11 月期より 2019 年 11 月期の5ヶ年)をスタートいたしましたので、その概要についてお知らせいたします。

当社グループでは、「人・環境と利益を共有する高収益企業」を目標像として、3ヶ年のローリング中期事業計画に基づき成長戦略に邁進している所ありますが、長期的視点で自らの収益性・成長性を顧みるに、従来の中期事業計画サイクル(3年)を超えた事業構造改革・ビジネスモデル変革への取り組みが必要との認識に至り、あらためて長期的な視点で、高収益型化学メーカーとして存在感のある独自のポジションを確立し、持続的な発展を遂げていく事を目指して参ります。

記

1. 長期経営計画の概要

(1) 長期経営計画の位置づけ

「10 年後のありたい姿」を実現するための道筋であり、第1次5ヶ年中期経営計画を規定するもの。

(2) 名称

Next Stage 10

(3) キーメッセージ

「ユウキの力で未来とつなげる ハイエンド&ハンドメイド ケミストリー」

(4) 10年後のありたい姿

『モノマーの設計から緻密に架橋・重合されたキーマテリアル』のグローバルニッチメーカーとして『表面修飾・配列制御』『高純度』技術により創出する新たな機能ときめ細やかな対応により、お客様のビジネスのイノベーションとオペレーションに貢献

- ◇ 『表面修飾・配列制御』『高純度』技術による機能性 No.1
- ◇ 少量多品種と開発・生産スピード No.1
- ◇ 一貫製造体制による顧客プロセスのソリューション No.1

10年後(2024年11月期)に、売上高300億円以上、営業利益率10%以上を目指す

- ◆ 川下化を目指した既存事業の収益向上
- ◆ 海外事業の拡大 売上高比率30%
- ◆ 新規事業の創出

(5) ありたい姿実現に向けた基本方針

- ① 既存事業における3つのNo.1実現に向けたビジネスモデルの革新
- ② 新たな収益の柱となる新規事業の創出
- ③ グローバル事業の拡大・推進
- ④ トータルコストの上昇抑制
- ⑤ 人材の育成・獲得
- ⑥ 効率的な組織基盤の整備

2. 第1次5ヶ年中期経営計画の概要

(1) 第1次5ヶ年中期経営計画の位置づけ

長期経営計画「Next Stage 10」に基づき、その前半を具体化・詳細化したものであり、3ヶ年中期事業計画を規定するもの。

(2) 業績目標

(金額単位:億円)

	2014年11月期	2015年11月期 (予想)	2017年11月期 (目標)	2019年11月期 (目標)
売上高	237	239	258	270
営業利益	13	13	16	22
営業利益率	6%	6%	6%	8%
海外売上高比率	15%	16%	18%	20%

(3)セグメント別売上高目標

(金額単位:億円)

	2014年11月期	2015年11月期 (予想)	2017年11月期 (目標)	2019年11月期 (目標)
化成品事業	114	112	119	123
電子材料事業	66	71	78	82
機能化学品事業	56	55	61	65
合計	237	239	258	270

(注)本資料に含まれる将来の計画に関する記載は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び仮定に基づき作成しており、実際の業績等は様々な要因により計画と異なる可能性があります。

以上